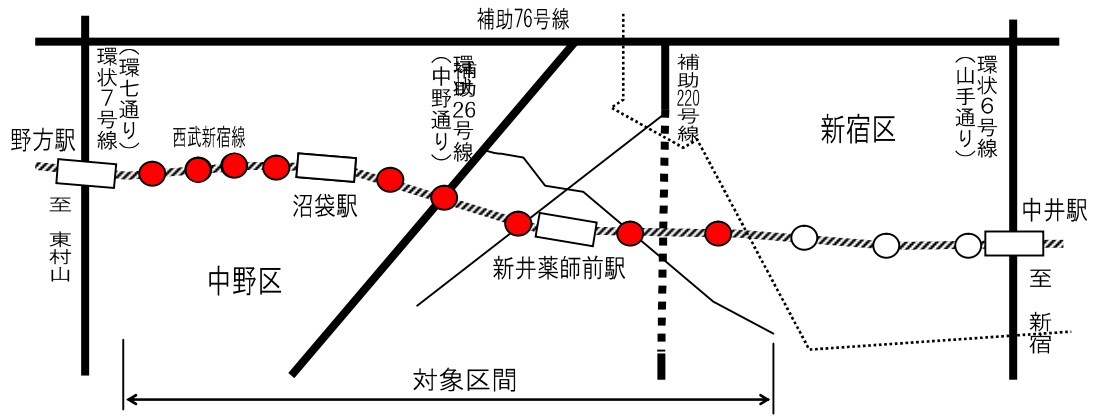


## 再評価結果（令和3年度事業継続箇所）

担当課：都市局街路交通施設課  
担当課長名：中村 健一

事業名	連続立体交差事業 西武鉄道新宿線（中井駅～野方駅間）	事業区分	連続立体交差	事業主体	東京都
起終点	自：東京都中野区上高田 至：東京都中野区野方			延長	約2.4 km
事業概要	本事業は、西武鉄道新宿線の中井駅～野方駅付近の約2.4 kmにおいて鉄道を地下化することにより、7個所の踏切を除却し、都市内交通の円滑化を図るとともに、分断された市街地の一体化による都市の活性化を図る事業である。				
H25年度事業化	H23年度都市計画決定	H25年度用地着手	H25年度工事着手		
全体事業費	737億円	事業進捗率	45%	供用済延長	0km
計画交通量	161,868台時/日（踏切交通遮断量）				
費用対効果 分析結果	B/C	総費用	総便益	基準年	
	(事業全体) 1.2	(残事業)/(事業全体) 343 / 616億円 事業費：343 / 615億円 維持管理費：0.3 / 0.3億円	(残事業)/(事業全体) 721 / 721億円 走行時間短縮便益 647 / 647億円 走行経費減少便益：50 / 50億円 交通事故減少便益：24 / 24億円	令和2年	
感度分析の結果	(事業全体) 交通量：B/C=1.1~1.3（交通量±10%） (残事業) 交通量：B/C=1.9~2.3（交通量±10%） 事業費：B/C=1.1~1.3（事業費±10%） 事業費：B/C=1.9~2.3（事業費±10%） 事業期間：B/C=1.1~1.2（事業期間±20%） 事業期間：B/C=2.0~2.2（事業期間±20%）				
事業の効果等	踏切を除却することによる日常的な交通渋滞の解消及び鉄道による地域分断の解消を図るとともに、事業を契機とした地元まちづくりの推進に寄与する。				
関係する地方公共団体等の意見	—				
事業評価監視委員会の意見	・事業の継続を承認する。				
事業採択時より再評価実施時までの周辺環境変化等	・本事業区間に含まれる新井薬師駅前・沼袋駅周辺では、街路や駅前広場などのまちづくりの計画が進んでいる。				
事業の進捗状況、残事業の内容等	進捗率：用地取得は89.7%（面積ベース）の取得を完了。 工事は、地下化工事に支障となる駅施設の移設や仮線路への切替が完了し、駅部を中心に仮設土留工や軌道仮受工等を施工中である。 残事業：用地取得は10.3%（面積ベース） 工事は、シールド工事、駅部の躯体構築などの地下化工事				
事業の進捗が順調でない理由、今後の事業の見通し等	・用地取得の遅れにより、令和2年4月に事業認可期間を令和8年度末まで延伸した。 令和8年度末の事業完成に向けて、概ね順調な進捗（実施）が見込まれる。				
施設の構造や工法の変更等	・特になし				
対応方針	事業継続				
対応方針決定の理由	踏切の除却により、交通渋滞や、踏切事故の解消及び鉄道による地域分断の解消を図るには必要不可欠な事業であり、早期完成に向け事業を進めていく必要がある				

事業概要図



凡例	
■ ■ ■ ■	未整備都市計画道路
////	鉄道平面区間
●	開かずの踏切
○	その他の踏切

※ 総費用、総便益とその内訳は、各年次の価額を割引率を用いて基準年の価値に換算し累計したもの。  
 ※ 総費用及び総便益の値は、表示桁数の関係で内訳の合計と一致しないことがある。